

ロータリアンとしての矜持をもって機会の扉を開こう!

“Open the doors to opportunity with the dignity of a Rotarian!”

第1843回 例会
令和7年8月21日(木)

司会：会場運営委員会 委員長 星野 敦鋭

会報No.1618号／担当：委員一同

会員数：76名／出席率：68%

会員増強・新クラブ結成推進月間★

ビジター・ゲスト

埼玉県立越谷東高等学校 JRC・インターアクトクラブ



顧問 久保 可菜子 様



2年生 根岸 真麻 様



2年生 掛札 つぼみ 様



2年生 麦島 姫菜華 様

2024-2025 交換留学生



メキシコ派遣 田中 暖乃 様

プログラム

- ◆開会点鐘 会長 隅田 諭司
- ◆ロータリーソング・クラブソング斉唱
- ◆ビジター・ゲスト紹介 会長 隅田 諭司
- ◆会長挨拶 会長 隅田 諭司
- ◆幹事報告 幹事 石渡 毅
- ◆委員会報告 各 委 員 会
- ◆ビジター・ゲスト挨拶

埼玉県立越谷東高等学校 JRC・インターアクトクラブ

顧問：久保 可菜子 様・2年生：根岸 真麻 様
 2年生：掛札 つぼみ 様・2年生：麦島 姫菜華 様

--- コーヒーブレイク ---

- ◆米山記念奨学部門セミナー報告 米山記念奨学委員会
- ◆職業奉仕部門セミナー報告 職業奉仕委員会
- ◆「ロータリー情報」紹介 オリエンテーション教育委員
- ◆2024-2025交換留学生報告

メキシコ派遣 田中 暖乃 様

- ◆スマイル報告 スマイル委員会
- ◆出席報告 出席委員会
- ◆閉会点鐘 会長 隅田 諭司



会長挨拶

会長 隅田 諭司

皆さん、こんにちは。

本日も例会にご参加いただきまして、ありがとうございます。

さて今日は、今週末にいいよ、2名の交換留学生が日本に到着します。

8月23日(土)には、エドヴィン・マッツ・ノートン・カールソン君がスウェーデンから来日します。



身長188cm今は、もしかすると、もう190超えているかな？でも体重は70kg。とてもスマートな方です。

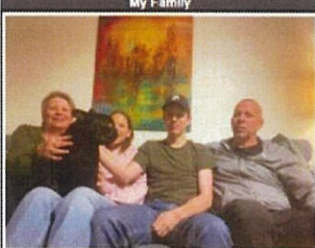
将来は警察官になりたいそうです。とても真面目な方の方です。趣味としては、音楽、リーダーシップ、経済、ゲーム、サッカーなど。



Stiftelsen Rotarys Ungdomsutbyte
Rotary District 2405 Long Term Program
Exchange Student Application, 2025-26
Name: Edvin Mats Norton KARLSSON



エドヴィン・マッツ・ノートン・カールソン（呼び名：エドヴィン）

My Family	My Special Interest
	
My family	Me playing the saxophone



第一ホストファミリーを井橋興蔵さんファミリーにお願いしています。

井橋さん、よろしくお願いいたします。

続きまして、8月24日（日）にエスター・ヴィオラ・レフさんがオーストリアから来日します。

11歳の頃から交換留学を強く望んでおり、特に日

本を希望していました。バレーボール部に所属しているそうです。バイオリンも弾くようです。

Sponsor District: 1930



Rotary Youth Exchange
Long-Term Exchange Program
APPLICATION
 Section A: Personal Information
 Page 1 of 3



Before you begin your application, be sure to read all instructions on the prior page.

エスター・ヴィオラ・レフ（呼び名：エスター）

My Family	My Special Interest
	
My family my dad, my mom, my brother Emil, my sister Lisa (from left to right)	Volleyball is my favorite hobby. I play since 2 years and about 3-4 times a week.



趣味は、木で小さなフィギュアなどを作ることです。将来の夢は、教会や宮殿などの古い建築物の内部構造を修復・復元することです（モダンな建築も好きですが、特に古いヨーロッパの建築に魅力を感じています）。



とても社交的な性格でクラスでは「クラスのお母さん」と呼ばれていて、友達が何か忘れ物をしても私が持っていることが多いそうです。

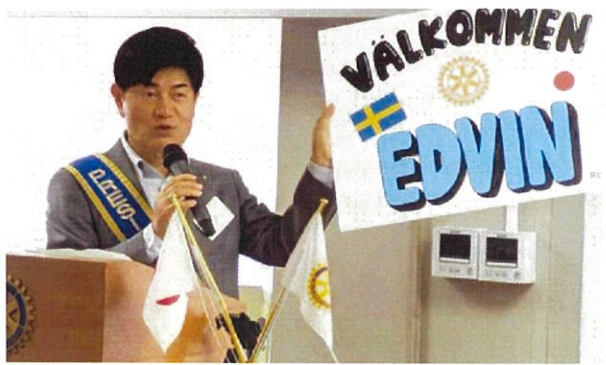
第一ホストファミリーを佐久間誠さんファミリーに

お願いしています。

佐久間さん、よろしくお願いいたします。



お二人は約1年間、私たちの地域に滞在し、日本の文化や習慣を学びながら、同時に私たちにも異文化交流の機会を与えてくれることでしょう。ロータリー青少年交換プログラムは、将来の国際理解と平和を担う若者を育てる大切な活動です。我々クラブにとって誇



りであり、また一人ひとりがホストクラブとしての責任を共有する機会でもあります。

会員の皆さまには、どうぞ温かく迎えていただき、交流を深めていただければと思います。例会やイベントでお二人を見かけましたら、ぜひ積極的に声をかけていただき、日本での滞在が素晴らしい思い出となるようサポートしてまいりましょう。



今週末の受け入れ準備にあたり、関係各位のご尽力に心より感謝申し上げます。私たちクラブ全体で2人を支えていきたいと存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。



幹事報告

幹事 石渡 毅

- ① 2026-2027年度の青少年交換留学生プログラム派遣学生の応募締め切りが8/25（月）までと迫っております。ご興味のあるメンバーやご家族の皆さんはお問い合わせください。

青少年奉仕委員会の山上委員長、もしくは幹事の石渡までご連絡ください。

- ② ポリオ根絶活動の啓蒙として、越谷市民まつりの際に募金活動を行います。

その際に揃いのTシャツを着用しますので、お持ちでない方は幹事までお問い合わせください。



- ③ 来週は外部卓話で馬渡亮太さんにお話しいただく予定です。

チャンピオンとなつての卓話となりますので、ぜひお楽しみにしてください。

委員会報告



インターアクト委員会
委員長 栗屋 裕二



親睦委員会
委員長 浜野 隆浩



社会奉仕委員会
委員長 田崎 尚樹

ビジター・ゲスト挨拶

埼玉県立越谷東高等学校 JRC・インターアクトクラブ



(左より) 顧問: 久保可菜子^{くぼかなこ}様、2年生: 根岸真麻^{ねがしまあさ}様、2年生: 掛札つぼみ^{かざつづみ}様、
2年生: 麦島姫菜華^{むぎしまひな}様

米山記念奨学部門 セミナー報告



米山記念奨学委員会 委員長 麻生 理恵



職業奉仕部門 セミナー報告



職業奉仕委員会 委員長 井橋 興蔵

2024-2025 交換留学生報告

メキシコ派遣 ^{たなか のの} 田中 暖乃 様

●プロフィール（派遣国から通学高校まで）

氏 名：田中 暖乃(たなか のの)

生年月日：2007年10月19日生まれ

出発日：2024年8月3日

帰国日：2025年6月26日

出身高等学校：叡明高等学校

スポンサークラブ名：越谷東ロータリークラブ

会長名：北林隆 様

カウンセラー名：竹内達也様

派遣国：メキシコ合衆国

地区番号：4195地区

ホストクラブ名：Merida Itzaes

会長名：Aidé Martínez

カウンセラー名：Abigail Navarro

通学高校：Instituto Patria



1 Mérida Yucatán (ユカタン州メリダ)

私はメキシコ合衆国ユカタン半島のメリダという街に約10カ月住んでいました。

人口約120万人、メキシコの南東部に位置しています。

Mérida Yucatán (ユカタン州メリダ)

気温40度以上で蒸し暑い日差しが痛い☀



メキシコの中でも暑い地域で、気温は年間平均で40℃前後、とにかく暑かったです。

メリダは海まで車で20分程度なので、日本の梅雨のように湿気が多く、カラッとしている日はあまりないので常に肌も髪の毛もべとべとしていました。

真ん中の写真はセノーテです。

セノーテは世界でここにしかない石灰岩の陥没穴によってできた地下水脈の泉の事です。このセノー

テは大昔に恐竜の絶滅に繋がった隕石の影響でできたと言われていますが、

長い時間をかけて石灰岩の地形であるこの半島に雨水が流れ込むことで地下に空洞ができ、地下水脈ができたそうです。

ここはダイビングの聖地と呼ばれていて、ダイバーにとっては世界的に有名で、透明度100メートルらしく世界最高レベルだそうです。実際私も何度か入っていますが驚くほど冷たく、透明度がすごかったです。また海まで繋がっているため深さは50～60m以上あるそうで怖くてあまり下を見れませんでした。右上の写真がそれです。

右下はメリダのサンセットです。

2 マヤ文明の影響を強く受けた地域

私のいたメリダはマヤ文明の影響を最も受けた場所です。マヤ文明に関しては奥が深すぎてここでは語り尽くせないので思いっきり省略します。

一番左の写真はチェチェンイツツァ遺跡で、世界遺産登録、真ん中の写真はウシュマル遺跡で世界文化遺産登録されています。

～マヤ文明の影響を強く受けた地域～

・マヤ文明の遺跡多数と多くのマヤ族が現在も居住



チェチェンイツツアはマヤの最高神を祀ったピラミッド、ウシュマルは保存状態がとてもよく華麗な装飾が特徴の遺跡でした。

右上の写真、これ私なんですがこのアクセサリーはマケチと言って、ゴミ虫と言う昆虫に宝石を付けた生きたブローチです。

これはマヤの王女が飾りで付けていたことをきっかけに今でも観光客向けに人気があり私も付けられました。宝石が付いているので意外に重かったです。

右下の写真はメリダの民族衣装でウイピルと言います。

このホホワイトベースの衣装はメリダのものですが各州によって柄やカラー、デザインが違います。エイラもこの衣装を最終例会で着てましたが本物の衣装はオーダーメイドで、一つ一つ手縫いなので50万円ほどするそうです。

ディズニー映画「リメンバーミー」のママココもこれを着ているのでぜひチェックしてみてください！

ファーストホストファミリー



3 ファーストホストファミリー

約半年お世辞になった第一ホストファミリーはホストパパ、ママ、19歳のシスター、ポーランド派遣のブラザー、犬二匹がいました。ホストパパのエリックは本当にかまってちゃん、というのもホストシスターはほぼ毎日彼氏の家にいたので、そ

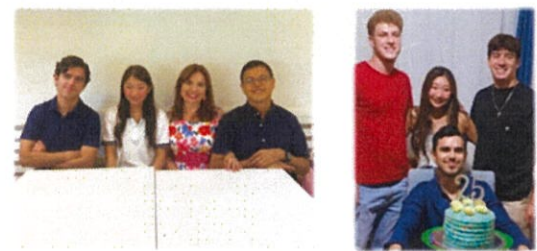
の分私はパパとよく一緒にいたり何かやる事が多かったりととても仲が良かったです。本当に陽気で明るくて面白いパパで、よくホストママのルピタに怒られていました。

私も何度か喧嘩をしたこともあります。でもいつのまにか仲直りをして更に仲が深くなりました。

ルピタは仕事で忙しく午前中は家にいませんでした。

だから、家族全員が揃って食べる夕食の時間が大好きでした。毎晩、2時間以上スペイン語の復習をして、分からない事は丁寧にスペイン語を教えてくださいました。何よりアウトプットする時間が多かったのもこの家族のおかげでスペイン語が上達したと言っても過言ではないです。感謝しています。

セカンドホストファミリー



4 セカンドホストファミリー

約1カ月半お世辞になったセカンドホストファミリーは、ホストパパ、ママ、25歳のブラザー、大学でドイツ留学中ノブラザー、ドイツ派遣のブラザーがいました。

私は、ロータリーの旅行が2週間あったので帰ったその日にホストチェンジをする予定だったんですけど、ホストパパが、旅行中に心臓の病気で他の州に緊急入院してるって言われて、ホストママもパパの付き添いをしているから、ブラザーと協力をして2人で約1カ月間生活をしていました。

ですが、パパの症状が悪化したのでロータリーと話し合った結果、2月10日から退院するまでカウンセラーさんの家に滞在させてもらいました。

3週間後、2月21日パパが無事に退院して私は家に戻る事ができました。

家族が揃ってからは本当に楽しく幸せな毎日でした。

1カ月半、家族揃って過ごした時間はあっという間でこの家族とは一切問題がなく大好きな家族です。本当にホストチェンジしなくなかったです。

サードホストファミリー



5 サードホストファミリー

約3カ月間お世話になったサードホストは、ホストパパ、ママ、19歳のシスター、ブラジル派遣のシスター、13歳のシスター、猫、犬がいました。サードホストとの写真は1つ也没有せん。

サードホストとは一切合わなかったし、ここでは伝えきれない程のハラスメントを受けました。猫のラモナだけが癒しの存在でずっと一緒にいました。

帰国2週間前に今まで我慢してきた事が我慢できなくなり、食欲低下や嘔吐、気づけば体重が10kg以上減り、ストレスで眠れない日が続いて日本の家族とロータリーと話し合った結果、最後は家出をして学校のお友達の家に匿ってもらい、26日に帰国しました。

お友達とお友達の家族には本当に感謝しかありません。

学校生活 ・学校7:00スタート朝6:00起床 6:15出発 14:00終わり



6 学校生活

授業は朝7時に始まり、昼の14時終わり。

ホストファミリーが毎日送迎をしてくれたので朝は6時15分に出ていました。

日本の学校とメキシコの学校は何もかも大きく異

なりました。

私の通っていた学校「Instituto Patria」はメリダの中では評判が悪いと有名な学校でした。授業はたまに先生が来なくて終わったり、テストは受けなくてよかったり。最初から最後までよく分かりませんでした。

私が初登校した日は、自己紹介もなく普通に授業が始まりました。

クラスメートや担任の先生からも話しかけてもらえず、スペイン語は全く理解できなかったので何も分からない状況でした。

私の席が用意されていなくて最初の頃は床に座って授業を受けていました。

私のクラスはお金持ちでいわゆる一軍的なグループがいて、皆見て見ぬふりで孤立状態が続いていました。

ランチは外で食べるんですけど、その時、初めて他クラスの男女6人組が話しかけてくれて、それから、気付いたら毎日で一緒にいて、放課後はショッピングモールに行ったり、海に行ったり、クッキーを作ったりしキラキラした青春を過ごすことができました。今でも連絡を取っています。

Misiones (ミシオネス)



7 Misiones (ミシオネス)

私がこの派遣生活で一生忘れる事のない行事は、ミシオネスというボランティア活動へ3泊4日で行ったことです。

ミシオネスは学校の行事で強制ではなかったんですけど、私のホストクラブのみ強制的の選択肢しかなかったので仕方なく行きました。

私の行った所は車で3時間程の小さな村です。

WIFI、水道、電気の無い町で、トイレはその辺

で土を掘るスタイル。

もちろんスーパーやコンビニはありませんでした。

鶏、豚、牛を飼育し、男性は皆、猟銃を持っていてそれで動物を殺して食べます。

私が行った時も豚を殺して沢山の料理を振舞ってくださいました。

お世辞にもおいしいとは言えなかったし、虫も多数入っている所以衛生面はひどく、本当に衝撃的でした。

でも、村の人々は本当に優しく、私を温かく迎え入れてくださいました。

その素晴らしいおもてなしに心を打たれましたし、命の大切さについて実際に体験できた事は本当に貴重な経験でした。

食べ物



8 食べ物

平日は基本朝ご飯は食べません。というのも学校に行く時間が朝早いので食べる時間がないからです。

休日は食べます。ケサディージャといってトルティージャ生地にチーズを挟んだもので、メキシコの朝ご飯と言ったらこれです。

お昼ご飯は3時から4時の間に食べます。一日の中で一番のメインです。

私は大体ファストフードが多かったです。

タコスやハンバーガーやフライドチキンなど。共働きが多いので第2ホストママ以外は料理をしませんでした。

メキシコと言ったらタコスのイメージがあると思いますが、想像をしていたタコスとは見た目も味も違いました。組み合わせによって沢山の種類があるので毎日食べても飽きません。

メリダの一般的タコスは、tacos de pastorと言って右の写真のお肉が入ってます。

その上に自分の好みで、玉ねぎ、パクチー、サルサソースと言って辛いものや甘いものをかけて食べます。また、フリホールと言って粒あんの甘くないものをかけてよく食べていました。

夜ご飯はポテトチップスなどのスナックか、菓子パンです。

基本お腹が空いたら食べるので時間帯は気にしないで夜中によく食べていました。

Fiesta(フィエスタ)



9 Fiesta (フィエスタ)

私が一番日本との違いを感じたことは、Fiestaです。

メキシコには「Fiesta」フィエスタというパーティーがあります。

最低毎週3回は必ずありました。基本は夜の8時から始まり、朝の2時に終わります。6時に終わることも多々ありました。

大きいFiestaだと100人以上の友達や家族が集まるので色々な人とコミュニケーションを取る良い機会でした。メキシコ人は本当に陽気で、朝から晩まで音楽をかけて踊って歌っています。私は常に寝不足でした。

10 外・家にいる生き物たち!!

もちろん日本にいる生き物とメキシコにいる生き物は全然違います。

街には野良犬がこれでもかと言うほど沢山いて、高速道路やスーパーの中にもいました。

大体犬を飼う人は、ペットショップで購入する人は少なく、そこら辺の道で犬を拾って飼う人がほとんどです。

イグアナはそこら中に沢山いました。大きいものだと体長2メートルのものもありました。

学校では、タランチュラとサソリができました。

川にはワニがいます。ロータリーのツアーでは、ワニのいる川で泳ぎました。

水が緑色で濁っていて、下が見れないのでスリル満点でした。

11 最後に

約1年間のメキシコ派遣生活は、私が思っていたはるかに上回る程濃く、貴重な経験になりました。



この1年間で経験した、楽しかったことも、そうではなかったことも、全てが自己成長につながり、こんなにも充実した1年間を過ごせたことは一生の宝物です。



1年前、このプログラムに受けようか迷っていましたが、一步踏み出して本当に良かったなと心の底から思います。

色々な文化、人種、価値観、考え方の違いを自分の目で、耳で、肌で実際に感じることができ、それが私の視野を大きく広げてくれました。

また、生活面では、日本の豊かさ、素晴らしさを実感しました。



日本では当たり前だと思っていたことがメキシコではそうではなく、どれだけ私達日本人は恵まれているか身に沁みてわかりました。

本当に全てに自然と感謝が湧くようになりました。

越谷東ロータリークラブの皆様、2770地区委員の皆様、ROTEXの皆様、両親、同期のみんな、この派遣生活で携わった全ての方々、本当にありがとうございました。特に、私の両親は、辛いことがあったら沢山のアドバイスをしてくれて、ずっと私を支えてくれました。何度も両親の言葉に救われました。感謝してもしきれません。今後はROTEXとして積極的にイベント、オリエンテーションなどに参加させていただくつもりです。私にできる事を最大限発揮し、派遣候補生やみんなに寄り添いながら、ROTEXとしてのサポート業を精一杯頑張ります。

ご清聴ありがとうございました。



「ロータリー情報」紹介

doors to opportunity with the dignity of



オリエンテーション教育委員会 副委員長 佐久間 誠





スマイル報告

スマイル委員会 中村 吉宏 委員

今 回

35,000円

累 計

221,500円



司 会

会場運営委員会 委員長 星野 敦鋭



出席報告

出席委員会 委員長 田邊 麻衣



次回例会のご案内

第1844回 8月28日(木) 12:30点鐘

- 外部卓話……
WMO世界スーパーフェザー級チャンピオン
馬渡 亮太 (まわたり りょうた) 様
地元へ感謝「越谷から世界へ挑戦」

